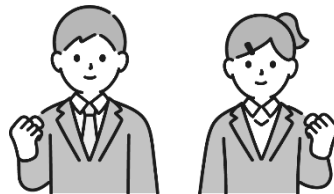


進路通信

太田市立太田高等学校進路指導部

第5号 令和3年9月27日

いよいよ本格化！推薦入試対策号



いよいよ進学希望者の推薦入試（学校推薦型選抜・総合型選抜）の始まる時期となりました。そこで今回は推薦入試の概要と対策について紹介します。

推薦入試の種類

【学校推薦型選抜】

- ・指定校制：各種学校が指定した高校だけが出願できる入試。「進路の手引き」に過去の指定校一覧があるので、希望する進学先の有無や条件を確認しておこう。
- ・公募制：出願条件さえクリアすれば出願できるが、国公立大学の学校推薦型選抜は、私立大学に比べて募集人員が少なく、厳しい成績基準を設けていることが多い。また学校ごとに人数の制限があることが多く、学内での選抜が必要になることもある。

公募制推薦の例：群馬大学 共同教育学部（国語）

〔募集人数〕5人 〔試験日〕11/20 〔選抜方法〕小論・面接 〔出願条件〕評定平均値4.3

【合格する生徒の特長】

- ・評定平均が高く、志望理由や将来の目標をしっかりと語れる生徒。
- ・積極性があり、はきはきしている生徒。

【その他ポイント】

- ・評定が低いと合格は難しい印象がある。

(Benesse High School Online WEB サイトより)

【総合型（AO）選抜】

「アドミッションポリシー」（入学者受け入れ方針）に基づいて学力だけではない能力や適性、意欲を総合的に評価する入試。面接・小論文に加えて独自の選抜方法を課すことが多い。出願方法も様々で、私立大学などの早いところでは夏休み頃から選抜が始まっている。国公立大学では、出願9～10月、合格発表11～12月上旬といった入試日程が一般的である。

Point

①評定平均値をあげておく

出願条件を満たすために、全ての科目で評定を少しでも上げておこう。



1、2年生のときは部活動が忙しくて定期考査の勉強をいかにげんにしてしまいましたが、もっと早くから入試を意識して評定平均値を上げておくべきでした。

②アピールできる経験を積んでおく

面接や書類選考では、高校時代の活動が重要になります。部活動や検定、ボランティア活動、グローバルプログラム、ビブリオバトルなど、様々な活動に積極的に参加しましょう。

選抜方法と対策

種類	概要	対策
書類選考	出願時に提出する書類の例 「調査書」 学習成績や生活態度などをまとめたもの。 「推薦書」 担任や部活動の顧問が推薦理由を記入するもの。 「志望理由書」「自己推薦書」 「エントリーシート」 志望動機などをまとめるもの。	「志望理由書」「自己推薦書」「エントリーシート」が主に自分で書くものになる。 自分の高校での経験を振り返り、どのような成長があったかなどを整理しておこう。 またアドミッションポリシーから、どのような人物が求められているのか確認しておこう。
小論文	短くて600字、長ければ2000字程度の論述試験。 「課題論述型」 与えられたテーマに沿って書くもの。 「文章読解型」 長文を読んで関連テーマを書くもの。読解問題や要約があることも。 「データ型」 グラフや表が与えられ、読解や論述をする。	各学校の過去問を最低でも5年分確認し、傾向を掴もう。出題形式や内容の傾向がわかったら、関連書籍を数冊読んで分野ごとの知識や考え方を学ぶこと。並行して小論文を書く。小論文の構想(プロット)を30本くらい作れるとよい。
面接	提出した書類の内容をもとに、個人またはグループ面接が行われます。専門分野に関する口頭試問が行われる場合もあります。 グループでの話し合いを行わせ、その様子から合否を決めるという方式もあります。	過去の傾向から聞かれそうな質問の答えをあらかじめ考えておく。いろいろな先生や大人に面接練習をお願いして緊張に慣れよう。
プレゼンテーション	与えられた課題に対して資料を作成し、口頭やコンピュータ等での発表を求めるもの。	時間をかけて取り組む必要がある。計画的に受験しよう。
実技試験	体育や芸術に関する学部学科で実技や作品提出が求められるもの。	専門的な技術の指導をしてもらうことが必要になる。
大学入学共通テスト	上記の方法に加えて、共通テストでの結果を選考に活用する大学があります。	推薦入試対策だけではなく、学力もきちんと磨いておこう。

【今後に向けて】

◇推薦・総合型選抜の募集が増加中！

2021年度入試で国立大学の総合型選抜募集人員が前年から3割増となった。推薦・総合型選抜の志願者はそれほど増えていないものの、合格者数が増えている。推薦入試の活用を考えることで、志望校に合格するチャンスを掴もう。

◇面接や小論文が伴う形態では、実績（言えること、書けること）・経験が大切

- ・部活動を3年間やり抜く、検定や資格の取得など、自分磨きに励もう。
- ・日頃から興味関心のある分野の新聞記事を集めたり書籍を読んだり、アンテナを高くしておこう。

